

3. 事業の実施状況

令和2年度富山県計画に規定した事業について、令和5年度終了時における事業の実施状況について記載。

事業の区分	4. 医療従事者の確保に関する事業	
事業名	【NO.20 (医療分)】 地域医療確保修学資金貸与事業・地域医療 再生修学資金貸与事業	【総事業費】 126,975 千円
事業の対象となる区域	県全体	
事業の実施主体	富山県	
事業の期間	令和2年4月1日～令和6年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了	
背景にある医療・介護ニーズ	急性期医療を担う公的病院等や産科や小児科などの特定診療科で医師が不足しており、医師確保対策が必要である。 アウトカム指標： ・小児1万対小児科医数 12.0人 (H30) → 12人以上維持 (R3) ・出生千対産科医数 14.0人 (H30) → 14人以上維持 (R3)	
事業の内容 (当初計画)	① 国の緊急医師確保対策及び骨太方針2009に基づき定員を増員した富山大学及び金沢大学の特別枠入学生に対し、卒業後に公的病院等の特定診療科 (小児科、外科、小児外科、乳腺外科、消化器外科、呼吸器外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科) で勤務することを返還免除要件とする「地域医療確保修学資金」を貸与 ② 県内の公的病院等で、貸与期間の2倍に相当する期間、勤務することを返還免除要件とする前期コースと、県内の公的病院等の特定診療科 (小児科、外科、小児外科、乳腺外科、消化器外科、呼吸器外科、産科、麻酔科、救急科、総合診療科) で貸与期間の1.5倍に相当する期間、勤務することを返還免除要件とする後期コースからなる「地域医療再生修学資金」を貸与	
アウトプット指標 (当初の目標値)	【R5】 ①地域医療確保修学資金貸与医学生 新規12人 ②地域医療再生修学資金貸与医学生 新規20人	
アウトプット指標 (達成値)	①地域医療確保修学資金貸与医学生 新規11人 ②地域医療再生修学資金貸与医学生 新規8人	

事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児1万対小児科医数 13.2人（R2）→13.7人（R4） ・出生千対産科医数 16.5人（R2）→17.3人（R4） <p>医師・歯科医師・薬剤師統計の結果により確認しているところ、令和5年度は調査が実施されていないため確認できないが、最新の令和4年度調査によれば、いずれのアウトカム指標も令和2年度より増加しており、医学部卒業後、富山県内で医師として勤務することとなる医学生修学資金の貸与者数も順調に伸びている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度末貸与総数：487名 ・R5年度末貸与者数：88名
その他	<p>（1）事業の有効性 医学生への修学資金の貸与により、医師の県内定着が図られ、県内の医師数の維持につながっている。</p> <p>（2）事業の効率性 医師の地域偏在・診療科偏在の改善を図りながら、特に、医師不足が顕著な診療科医師を効率的に増やすことができています。</p>